

システム開発型研究プロジェクト

- 趣旨

学生主導でグループを作成し、計画立案(予算獲得)・実行・現状把握・成果報告等を体験し、研究者としてのプロジェクト管理等について実践的に学ぶ。

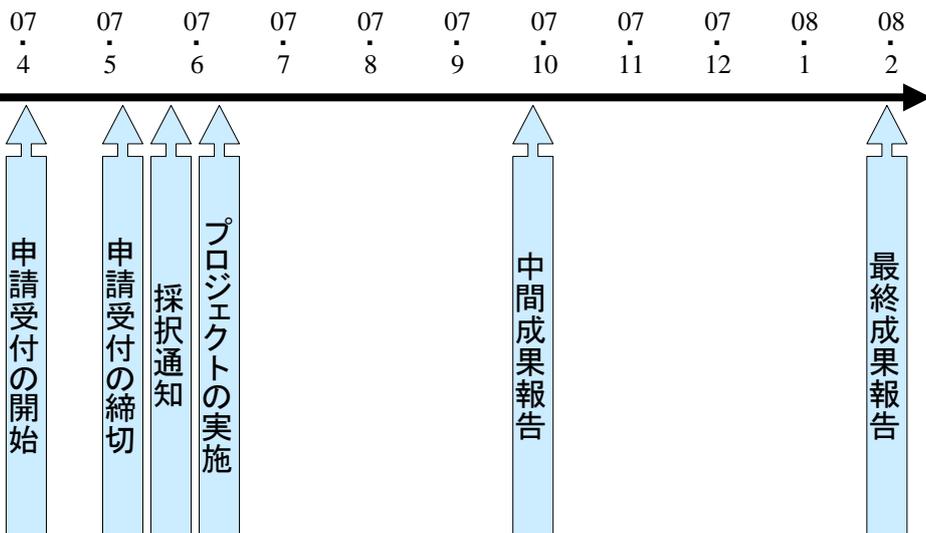
- 予算

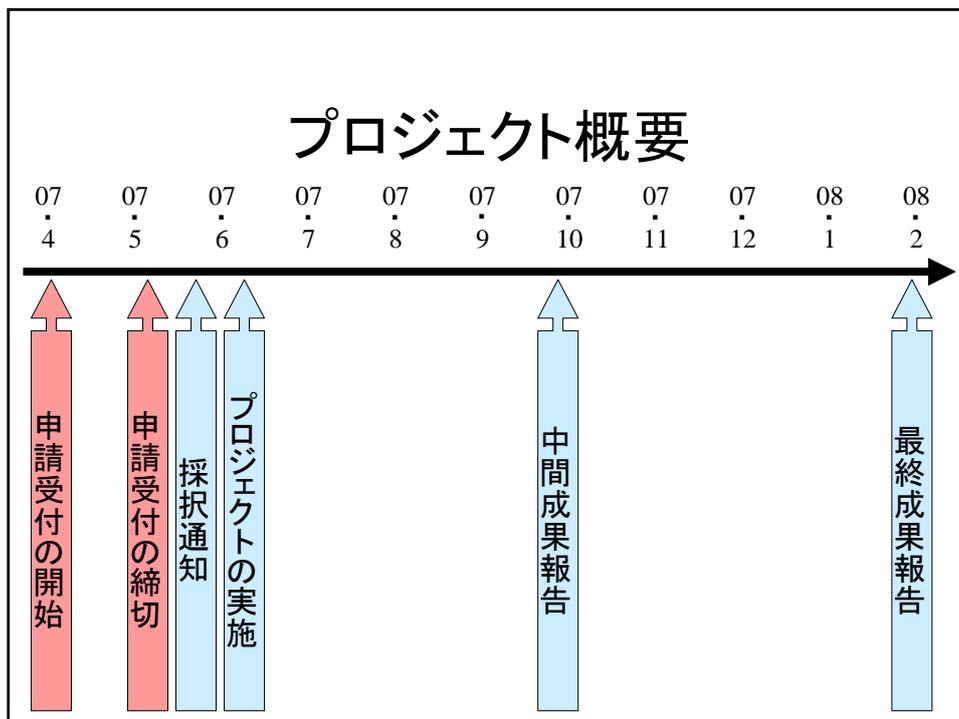
昨年度実績(実施件数12件):
50万円/課題, 及び30万円/課題

- 応募資格

研究代表者として応募可能なものは、**コンピュータサイエンス専攻に所属する博士後期課程の学生のみ**とする。グループメンバーとしての参加は、博士後期/前期課程及び情報学類/科学類生の何れの学生も可能である。また、連続応募は妨げない。

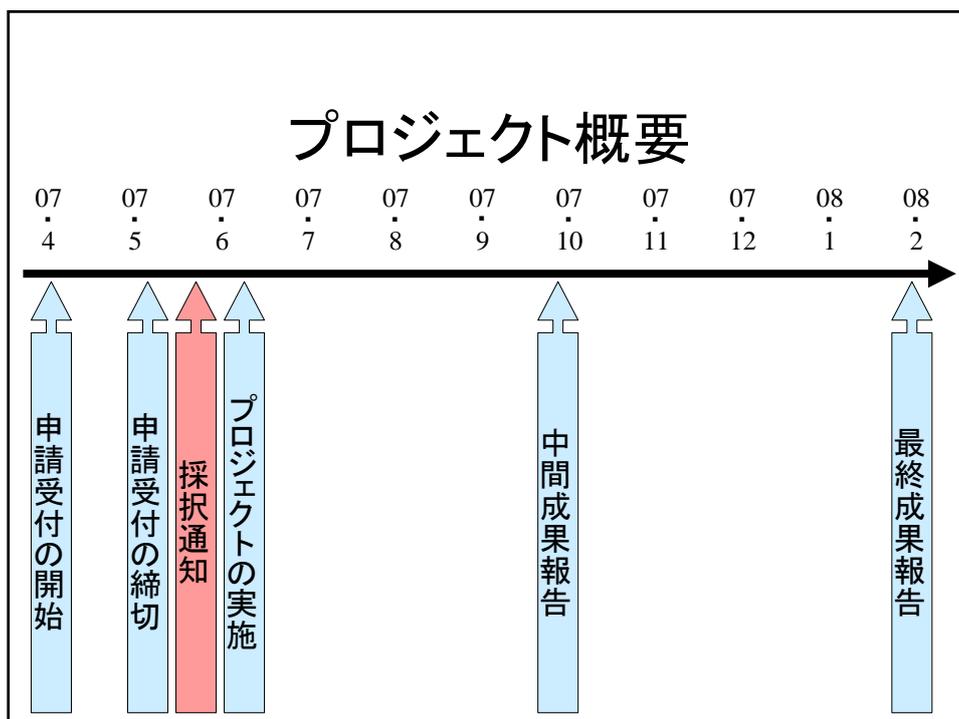
プロジェクト概要





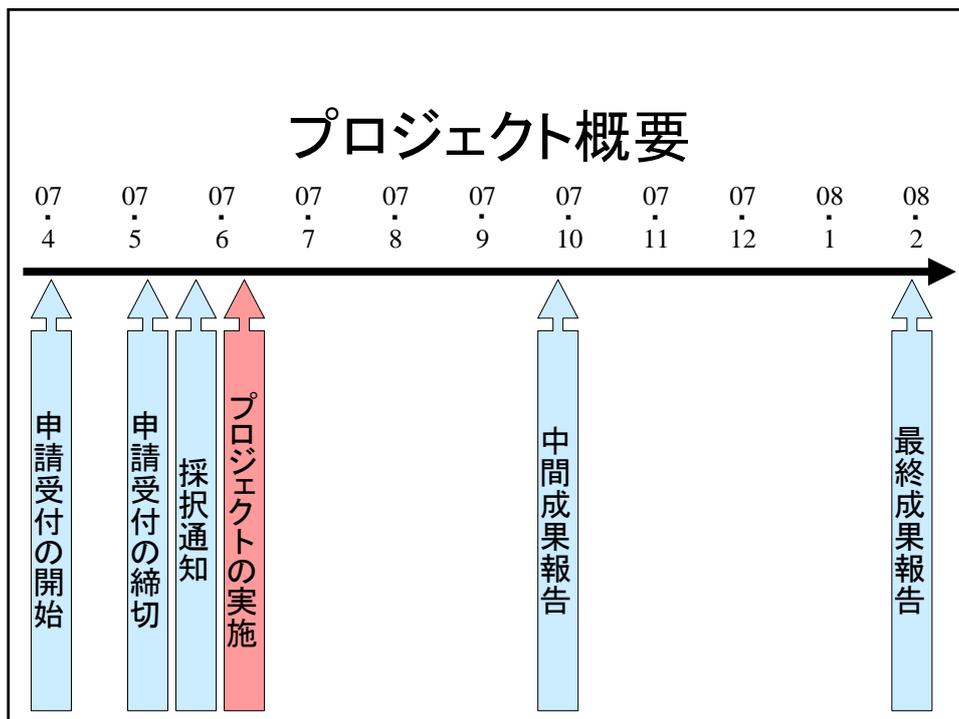
プロジェクトの申請に関して

- 募集要項・申請フォーマット・諸注意は、
<http://www.cs.tsukuba.ac.jp/lecture/syspro/>
にあるので熟読すること。
- 申請は**研究代表者(博士後期課程)のみ**が行える。
- **アドバイザー教員**に必ず許可を得ること。
- 申請期間は、本日～2007年5月11日(金)とする。
- 申請書類の提出は電子媒体でのみ受け付け、返却は行わない。

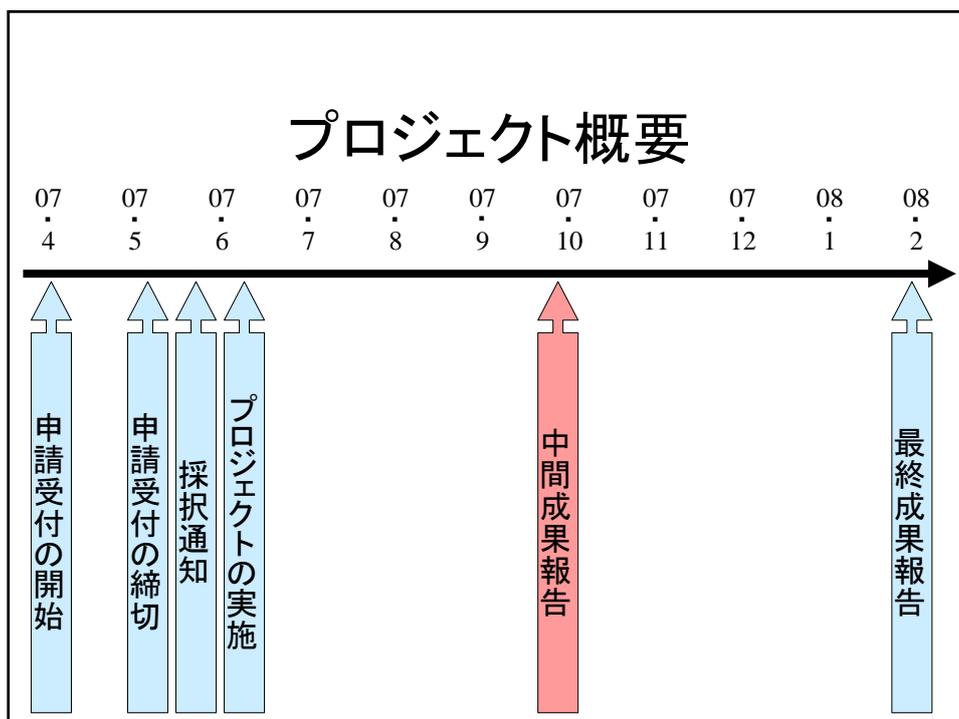


採択・不採択に関して

- 専攻内の教員数名からなる委員会を開き、申請書類について審査を行う。審査結果及び申請状況によっては2次選考(面接)もある。
- 審査結果は各代表者に連絡される。連絡予定日は5月25日(金)。このときに、審査結果の内容及び予算等について連絡を行う。
- **履修登録申請は採択後にTWINSで行う。**



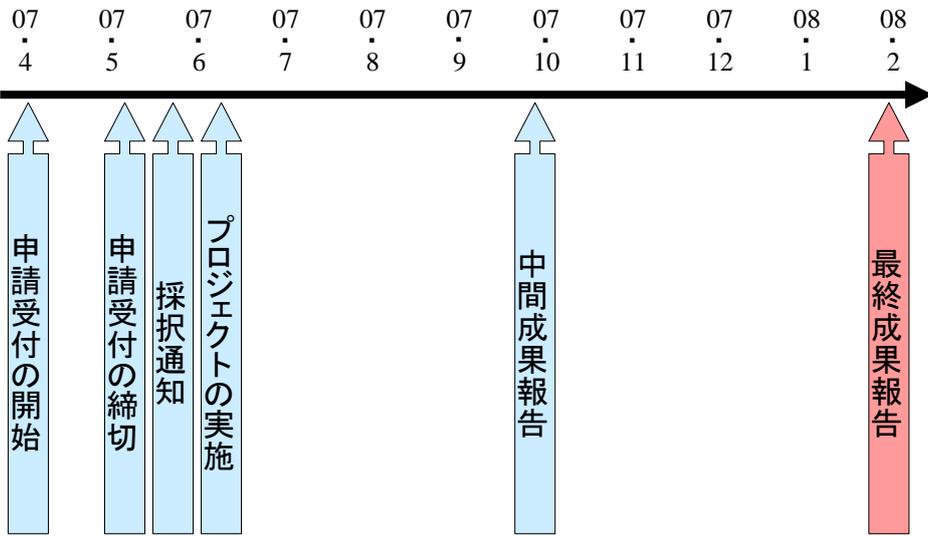
- ## プロジェクトの実施
- 採択が決定し履修申請を行ったグループからプロジェクト(システム開発)を進めていく。
 - プロジェクトに要する時間は、研究代表者の裁量に委ねられ、アドバイザ教員等による指図は受けないものとする。
 - 研究予算の執行はアドバイザ教員を通じて行い、予算を超過した発注は認めない。超過した分については支払いを行わないので注意すること。
 - 上記に加えて、20万円を超えるものについては購入することができないのでこれも注意すること。
 - 旅費等については、基本的に認めない。



中間成果報告(9~10月頃)

- 研究代表者及びメンバによる口頭発表を予定している(約20~30分程度).
- 上記は学内公開とする予定である.
- 時間・場所等については後日連絡する.
- 中間成果報告の結果より予算を追加配分する.
- 研究計画書で5割, 中間成果報告で残りの5割を配分予定である. 最初の配分予算が少なくても中間成果報告の結果によっては追加配分されたり, その逆もあるので計画性を持って進めること.

プロジェクト概要



最終成果報告

- 単位を決定するための報告会(一般公開)である
- 内容は、システムのデモ展示とポスター発表である。
- 本報告会での成績評価は、外部審査委員も含む評価委員会によって判断される。
- 予算額と単位は独立に評価する。あくまでも、中間・最終報告会より単位が判定される。
- システム開発報告として、8ページの研究成果報告(研究会論文相当)を提出しなければならない。これは、CS専攻テクニカルレポートとして冊子化及び電子公開される。

その他

- 詳細は、「システム開発型～」のWebページ

<http://www.cs.tsukuba.ac.jp/lecture/syspro/>
にあるので、まずはこれを参考にする事

- 質問・意見等については、

d-gp-syspro@cs.tsukuba.ac.jp

で受け付ける。このアドレス宛に連絡すること。